

令和3年
3月14日(日)
3月15日(月)

相生市文化会館
扶桑電通
なぎさホール

また、この男の出番がやってきた！

二宮金次郎

合田雅吏 田中美里 成田渥
榎木孝明(特別出演) 柳沢慎吾 田中泯

犬山ヴィーノ 長谷川稀世 竹内まなぶ(カミナリ) 石田たくみ(カミナリ)

渡辺いっけい 石丸謙二郎 綿引勝彦

監督●五十嵐匠

脚本●柏田道夫 原作●「二宮金次郎の一生」(三戸岡道夫 栄光出版社刊) 音楽●寺嶋民哉 プロデューサー●永井正夫

製作●映画「二宮金次郎」製作委員会 万葉倶楽部株式会社/井上泰一/日本教科書株式会社/株式会社ストームピクチャーズ

特別協賛●映画「二宮金次郎」市民応援団おだわら 映画「二宮金次郎」日光市民応援委員会 大本山成田山新勝寺 株式会社コロネ 一般社団法人日本保釈支援協会

協力●全国報徳研究市町村協議会 製作プロダクション●株式会社ストームピクチャーズ 配給●株式会社映画二宮金次郎製作委員会

©映画「二宮金次郎」製作委員会 2019 / 日本 / カラー / 113分 / アメリカンビスタ(1:1.85) / 5.1ch

ninomiyaakinjirou.com



小学校の校庭に必ずと言っていいほどあった金次郎像。
薪を背負って勉学に励んだあの少年が、その後、
600以上の村の復興を手がけたことをご存知だろうか？
200年前に金次郎が辿り着き、守り抜いた思想の数々は、
今も変わらず、私たちの中に生き続ける。

幼い頃、両親が早死にし、兄弟とも離れ離れになった二宮金次郎——。青年になった金次郎は、小田原藩主に桜町領（現・栃木県真岡市）の復興を任される。金次郎は、「この土地から徳を掘り起こす」と、“仕法”と呼ぶ独自のやり方で村を復興させようとするが、金次郎が思いついた新しいやり方の数々は、一部の百姓達には理解されるが、保守的な百姓達の反発に遭う。そんな中、小田原藩から新たに派遣された侍・豊田正作は、百姓上ガりの金次郎に反発を覚え、次々と邪魔をし始める。はたして、金次郎は、桜町領を復興に導けるのか？

監督は『地雷を踏んだらサヨウナラ』『長州ファイブ』の五十嵐匠。プロデューサーと脚本は、『武士の家計簿』の永井正夫と柏田道夫のコンビが再タッグを組んだ。また、音楽は、『半落ち』で日本

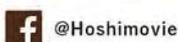
アカデミー賞優秀音楽賞受賞の寺嶋民哉、撮影は、『蝉しぐれ』で同優秀撮影賞受賞の釘宮慎治と、ベテラン映画人が集結。

主人公の金次郎を演じるのは、「水戸黄門」格さん役でお馴染みの合田雅吏。金次郎を支える妻・なみにNHK連続テレビ小説「あぐり」の田中美里、敵役・豊田正作に舞台を中心に活躍している成田湊、小田原藩主・大久保忠真役に榎木孝明、反発する百姓・五平役に、本作でシリアスな演技に驚くほどの新境地を見せる柳沢慎吾、成田山新勝寺伝説の貫主・照胤役に田中湊。さらに、金次郎の伯父・二宮万兵衛役に渡辺いっけい、服部十郎兵衛役に石丸謙二郎、斎藤平左衛門役に綿引勝彦など、ベテラン実力俳優たちが脇を固めている。また、人気お笑いコンビ・カミナリの竹内まなぶ、石田たくみが、本作で映画デビューを飾っている。

復興に命を賭けた二宮金次郎の、
そのドラマチックな生き様が魂を揺さぶる、感動作の誕生です。



公式サイト：ninomiyakinjiro.com



映画「二宮金次郎」特別上映会

令和3年3月14日(日) ・ 3月15日(月)

【上映時間】 1回目 10:00(9:30開場)
2回目 13:00(12:30開場)
3回目 16:00(15:30開場)

1回目 10:00(9:30開場)
2回目 13:00(12:30開場)

【会場】相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール 大ホール

【チケット発売日】一般/令和3年1月23日(土)

【入場料金】なぎさホール友の会会員/無料

一般/500円 高校生以下/無料

※ 全席自由 各回定員(約240席)入替制

※ 友の会会員・高校生以下の方も事前にチケットが必要です。

※ 友の会会員は1月6日(水)よりチケットを交換します。

※ 入場人数を把握するため、予め鑑賞時間を指定していただきます。

※ 新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用等にご協力ください。

【主催】相生市文化会館

【お問合せ】☎0791-23-7118